

親と子が人形劇で 人権を学ぶ

～水口西保育園～

水 口西保育園で1月22日、保護者会主催の人権研修が行われました。はじめに、市内の人権擁護委員が人形劇「くひら森のおばけ」を上演。園児と保護者が熱心に鑑賞し、友達とけんかをせず、やさしい心を持つことの大切さを学びました。後半の講演会では、人権擁護委員で、元滋賀短期大学非常勤講師の森村シズ子さんが、自らの経験を交えながら子どもとの関わり方について保護者に語りかけました。なお、人形劇を使った人権教室は、甲賀人権擁護委員協議会が昨年から始めたもので、今後も市内の小学校などを巡回されます。



▲人権擁護委員による人形劇

山内エコクラブが大型絵本 「鈴鹿物語」を読み聞かせ

～子どものための
こどもコンサートin土山～

子 どものためのこどもコンサートin土山が1月31日、ダイヤモンド滋賀ホテルで開催されました。文化庁のほか、地元団体でつくる実行委員会などが主催。市内在住のフィンランド人オリアイン・マルクさんによるギターと歌に続き、山内エコクラブが地域の水文化を描いた大型絵本「鈴鹿物語」の読み聞かせを行いました。歌やせりふを交えた6人の児童の語りかけに、満席のホールから惜しみない拍手が送られました。



▲大型絵本「鈴鹿物語」の読み聞かせをする山内エコクラブの皆さん

やさしい手ざわり 愛あふれる布の絵本作り

～布絵本製作ボランティア「もめん」～

信 楽図書館で活動する布絵本製作ボランティア「もめん」の布絵本が、群馬県桐生市で行われた第6回手づくり布の絵本全国コンクールで奨励賞を受賞されました。受賞作は、絵本「雨の日のふたりしんくんとのおんちゃん」で、9人がかりで約1年をかけた力作です。受賞を励みに、「今後は、タヌキや紫香楽宮跡など信楽にちなんだオリジナル作品を作りたい」と笑顔で話す皆さん。布絵本作りは、毎月第1・3金曜日の午後、図書館で行われており、新メンバーも募集中です。針仕事が好きな方、作業風景をのぞいてみませんか。受賞作をはじめ、これまで製作された布絵本は同館でご覧いただけます。



▲奨励賞を受賞した布絵本(手前)と作業に励む「もめん」の皆さん

地域の人々が交流 笑顔の輪広がる

～宇川会館健康福祉フェア～

宇 川会館の健康福祉フェアが1月30日に行われ、地域の人たちが交流を深めました。このフェアは、「福祉と人権でまちづくり」をテーマに、福祉の拠点である同館で毎年開催されています。オープニングは、貴生川小児童が育てたもち米を使ってのもちつき。子どもたちが交代でついたもちを、訪れた人に振る舞われました。ホール内では、子ども手話サークルによる歌の発表や、介護に関する講演会が行われました。また、子ども向けの催しも多彩で、学年ごとに回数を競うみんなでジャンプ(大縄跳び)や、人権カルタ大会に、小学生らの歓声が上がりました。



▲手話の歌を披露する子ども手話サークルのメンバー

芝生の感触確かめ ゴルフ場を駆ける

～こうかクロスカントリー～

ゴ ルフ場を走り抜ける、こうかクロスカントリーが1月31日、富士スタジアムゴルフ倶楽部北コースで開催され、市内をはじめ京都・大阪などから62名が参加しました。市体育協会甲賀支部と甲賀創健文化振興事業団が主催し今年で8回目。ゴルフ場に設定された高低差のあるコースで、男女別に10,000mと5,000mの部に分けて行われました。



▲起伏に富んだコースを駆け抜ける参加者

うすときねで昔ながらの もちつきに挑戦

～育児ひろばアプリコット～

育 児ひろばアプリコットによるもちつき体験が1月27日、水口東部コミュニティセンターで行われました。アプリコットは幼児を遊ばせながら母親らがくつろげるサロン。もちつきで地域の人とも交流しようとする前にチラシを配布したところ、日ごろの利用者親子約30組のほか、近隣の人々が集まりました。もちやうす、きねが甲賀もちふる里館から運びこまれ、親子で一緒にきねを振り下ろ



▲もちつきを体験する親子

の中、芝生の感触を確かめながら、それぞれのペースでゴールをめざしました。

しました。つきたてのおもちは、きな粉やしょうゆをつけて試食。参加者は、「やわらかくておいしい」と満足そうな笑顔を見せていました。